

# 町政を問う!

## 一般質問 9議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 関根清隆 議員

1. 待ったなし!空き家対策と移住推進政策提案
2. 地方創生拠点整備交付金について
3. 農村公園の有効利用(観光農園化等の提案)
4. 施設予約システム導入提案

### 石井 徹 議員

1. 新型コロナと教育行政
2. 新型コロナによる「新しい生活様式」の実践を進める上で
3. 企業立地について

### 大賀広史 議員

1. 子育て支援(ファミリーサポート事業)
2. 北部地域活性化事業の進捗
3. 町長の4期目の公約について

### 森 利夫 議員

1. 北部地域活性化事業について
2. 企業誘致について

### 日坂和久 議員

1. デマンドタクシー運行の利便性向上のため、各関係機関等と具体的な交渉・協議をおこない、課題の解消をしていく必要があると考えるがいかがか

### 根岸富一郎 議員

1. 少人数学級について
2. 難聴と高齢者の引きこもりについて
3. 粘土質土壌で農業振興を

### 野田小百合 議員

1. 気候変動対策を
2. 図書館について
3. 子宮頸がんワクチン接種について

### 中山明美 議員

1. 避難所対策について
2. インフルエンザワクチンの接種を
3. 緊急時通報システムの拡充を

### 小鷹房義 議員

1. 鳩山町上熊井農産物直売所について



関根 清隆 議員

## 空き家対策

## リモートワーク移住推進を

## 土地・空き家の物件少。政策課題

**問** 鳩山町は、自然も豊かで首都圏に近く、リモートワーク移住に適した立地だ。現在の移住政策はどうか。現在の移住政策はどうか。現在の移住政策はどうか。

**答** 平成29年度より「ミニユニティ・マルシェ、空き家バンク等」を推進し、約3年間で町外からの移住者は都内から1件、ときがわ町から1件となっている。子育て世代や若い世代へアピールするため、移住者やRFA社の活動を通して、各種イベント、SNS・動画での情報発信を強化してきた。

**問** 有楽町駅前の「ふるさと回帰支援センター」へ入会し、移住推進パンフレットなどを設置し誘導を願いたい。

**答** 指摘と同等の「JONNー」の会員となつて、移住推進を行っている。

**問** 移住するためには土地や家が必要だが、空き家対策はどうなっているのか。群馬県中之条町では、町外からの移住にリフォーム100万円、子ども加算、夫婦年齢加算があり、空き家取り壊し



長年放置された空き家、その一例

には最大70万円補助が出る。補助金と子育て支援や福祉を含めた総合的な政策立案をすべきでは。

**答** 空き家対策としては、「特定空き家」の判定基準が未確定。また、今後推進するために、町の組織改正と合わせて、検討事項とする。

**問** 農村公園の有効利用について、①観光フルーツパーク化、②ドローン練習場を提案する。

**答** ①②は農村公園の目的外利用となり、また②については、安全性を考慮する上で難しい。

**問** 廉価な施設予約システムを2例提案する。

**答** 他自治体を調査し、高額であり見送ったが、提案システムについては今後、検討したい。

企業立地計画

今宿仮宿地区への課題は

4つの大きな課題解決が必要



石井 徹議員

企業立地について

**問** 6月議会後に、今宿仮宿地区に、進出希望事業者の説明を受けたが、8月の全員協議会では、その事業者が早々に撤退したと報告を受けた。その理由を町長に伺う。

**答** 町では進出事業者の公募を行う際に、立地の検討に必要な情報を提供したが、都市計画法第34条12号区域指定がされていない、かつ埋蔵文化財発掘に関する期間や費用が膨大で、事業者の進出が厳しくなった。

**問** 仮宿地区の今後の対応で、この2点の課題解決、更には地権者との交渉、立地事業者への奨励金の提案等、4つの課題解決が必要と考える。併せて担当課の業務範囲の改善も必要な課題と考えるが。

**答** 一番大きな課題は地権者の状況。この最大の課題を含め、複数の課題に考えて取り組んでいく。

新型コロナウイルスと教育行政

**問** コロナ禍でのGIGAスクール構想の早期推進で小中学生全員に情報

端末を配備する計画だが、教育現場での十分な対応は可能か。

**答** 当初は令和5年までの整備計画で、2年前倒しの整備ではあるが、教職員の研修、各学校で有効活用できるよう教育委員会として支援していく。

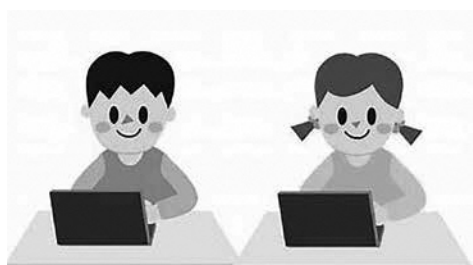
新しい生活様式の推進

**問** マイナンバーカードの今後の有効な活用方法は。

**答** 健康保険証として、更には住民票等がコンビニ交付可能になる。

**問** 庁用バスの利用状況は。

**答** 8月まで利用はない。コロナの状況次第だが、しばらくは公的使用のみ。



GIGAスクールイメージ

北部地域活性化事業

事業の検証・改善点を報告せよ

資料等を作成し、提示する



大賀 広史議員

ファミリーサポート事業

**問** 子どもたちの送迎などを町が有償で行う事業、来年度から実施するのか。

**答** 会議で検討を進めるが、来年10月頃までに開始できればと考えている。

北部地域活性化事業

**問** 町道1号線整備事業は、第1期計画の予定では完了しているはずだが。

**答** 全長1400メートルのうち、590メートル完了した状況だ。

**問** 計画では全工区整備で、4億7000万円。現時点での支出額は。

**答** 3億7000万円。

**問** 補助金見込み額は2億8500万円だったが。

**答** 第1工区で使ってしまったが、5300万円。

**問** 上熊井農産物直売所は指定管理者が決まらず、来年4月の開始を早々に断念、半年以上延期した。6月議会の際、間に合わせるかと断言していたが。

**答** 意を決して答弁したが、コロナ禍もあって、苦渋の選択をした。

**問** ここまで、予算と工程が大きく計画とずれて

いるにも関わらず、執行部は誰も責任を取らず、反省もない。計画の検証と改善点を作成し、報告書の提出を強く求める。

**答** 地元の合意を得るうえで多少無理があった。今後は、議会にも相談しながら進めていきたい。

小峰町長・4期目の公約

**問** 3月・6月議会でも町政への意気込みを聞いたが、答えなかったのは。

**答** コロナ禍もあり、人を集めない選挙を模索し、決意が遅れた。

**問** 3期目の際は36項目の重点施策を掲げたが。

**答** 今回は広報に掲げたように、3項目に絞った。

**問** 以前提案した、起債に制限額を設定するのは。

**答** 予算編成方針に上限枠を設定していきたい。



PDCAによる計画検証を!

森 利夫 議員



### 企業誘致（仮宿地域）

## 立地誘導に必要な区域指定は

## 県との調整は進んでいない

### 上熊井農産物直売施設

**問** 指定管理者の募集を行ったが、応募者がいなかった。再募集と管理開始の予定はいつか。

**答** 再募集は本年11月中旬までに行う。管理開始は令和3年10月頃を予定している。

**問** 建物が完成して長い間使用しないと、不具合が生ずる。対応は。

**答** 建物及び外構の管理は、除草等を含めて職員が行う予定。各種設備の不具合は生じても、使えなくなることはない。

**問** 結局は応募者がいなかった。少し甘く見ていたようだが。

**答** 一部見直しを含めて検討する必要がある。

### 企業誘致（仮宿地域）

**問** 県に区域指定の申し出をするための、土地利用に関する計画書等は、出来上がっているのか。

**答** 現時点では作成していない。

**問** 申し出に先立ち、地元住民への説明会等は終えているのか。

**答** 現時点では終えていない。

ない。県との事前協議を進めていく中で、住民説明会の開催や、都市計画審議会に諮問をする。

**問** 都市計画法34条の12号指定を受けるための手続きが、何も始まっていないと思える。近隣の自治体では、この区域指定を受けている場所に、企業を誘致している。同じ条件で企業誘致を進めるべきと思うが、町長の見解は。

**答** 今宿仮宿地区への企業誘致の課題が鮮明になった。複数ある中で最初にやるべきは、12号指定と考える。取り組んでいきたい。



地主の大部分の方が企業誘致を望む仮宿地域

### デマンドタクシー

## 経路追加であれば町外運行可能か

## 法的に可能。後は運行業者の理解

日坂 和久 議員



**問** につさい地区までの町外運行は、乗降ポイントの追加（経路追加）の手法を取り入れてはどうか。町内からポイントまでダイレクト運行で、町民のみ利用可能。につさい地区にいくつかのポイントを設置。また、ニュータウンからのバス路線が廃止になっていくため、その代替交通として位置付けても、他に競合する交通機関はなく、支障はない。

**答** 乗降ポイントの追加（経路追加）であれば、実現の可能性は見える。坂戸市や坂戸の事業者には説明する必要があるが、同意書等の文書の取り交わしは不要だ。町の公共交通会議で協議が整えばそれで良い。

**問** 土・日運行は受付が課題ということだ。しかし、キャンセル等については、予約センターが業務時間外でも運行事業者で扱っている。当面は土・日の予約を金曜日までに受け付けておくことで対応できるのでは。

**答** 当面は金曜日までに

受け付けておく方法も考えられる。先々は当日予約の要望が予想されるので、検討の必要がある。

**問** 町外運行、土・日運行を実現するには、運行経費等の増額が必要になる。どのように捻出するのか。

**答** 町全体の公共交通を見直し、収支率が悪化している交通機関の運行縮小や、費用のシフトも検討。



今後、町外・土日運行の必要度調査が行われる



根岸富一郎議員



少人数学級

学級編制基準が変われば

県費の教職員は基準により増える

**少人数学級について**

**問** 鳩山町は、今小6年生と鳩中2年生ですすでに1学級35人以下の少人数指導を行っている。教員の配置はどのようにしているのか。

**答** 1学級増えると、町費の教職員を1人増やすことになるが、担任はできない。

**問** 学級編制の基準が変わると教職員も増えるか。

**答** 学級編制の基準以上の学級人数に1人の教職員が増えることになる。

**問** 町独自の少人数学級指導のメリットで、充実した学習活動や、安定した学級活動の実現とは。

**答** 教職員が1人1人に目が行き届き、指導もしやすいということだ。

**問** 教室の広さの基準は64平方メートルだが。

**答** 今のコロナ禍で、国からの通知通りに子どもと子どもとの距離を開けると、40人学級は明らかに矛盾がある。

**問** 長期休業や夏休み等での影響は「1年間の授業時間を確保しなくては

ならない」と考えているのではないか。

**答** 「卒業していく学年」もある。「その1年間で確保する」方法をとっている。

**難聴と認知症について**

**問** 民間の補聴器を一定期間無料で貸し出す、訪問活動についてどう考えているか。

**答** 業者の信頼性など検討したい。

**問** 補聴器でも磁器ループを使うと「音が良く聞こえる」ことについて、どう考えているか。

**答** 磁気ループの有効性等の「説明の機会」をつくりたい。



少人数学級を

太陽光発電施設

要綱を条例化しないか

先進的な要綱を作る方策もある

野田小百合議員



**問** 最近の相談件数・届出書の提出状況は。

**答** 相談件数は8月28日現在30件。奥田・竹本・熊井地内で20件。小用・大豆戸・赤沼・石坂地内で10件。事前相談届出の提出は、同日現在6件。

**問** 回覧による説明の実施について、誰がどのように決めたのか。

**答** 町は、新型コロナウイルス感染症リスクを回避するため、集会方式以外の会議の開催を実施。町の考え方と地域の考え方が一致した。

**問** 鳩山町が悪い前例を作るのか。説明会すら開催せず、十分な資料も根拠も示さず、安心安全と事業をすすめてよいのか。

**答** コロナ禍の中で集会方式の説明会を強いることはできない。

**問** 施設設置に関する必要な情報を、行政の責任として、住民に知らせる必要があるのではないか。

**答** 何も分らないで説明会に臨むのでなく、問題に気づくために有効。町としても検討する。

**問** 条例化について、町長はどう考えるか。

**答** 昨年、担当に検討を指示した。全国の先進的な要綱を積極的に取り入れる中で、鳩山町独自の要綱を作る方策もある。

**ごみ減量**

**問** キエーロの実証実験に取り組まないか。

**答** ごみ減量化に有効と感じる。今後の課題である。

**図書館**

**問** 本の宅配サービスの取り組みは。

**答** 身体障がい者等への宅配サービスについて、検討したい。



土で生ごみを分解するキエーロ（鶴ヶ島市HPより）

中山 明美 議員



コロナ対策

インフルエンザワクチンに助成を

見極めながら考えたい

**問** コロナ禍の混乱を避けるために、インフルエンザワクチンを希望する人に、接種の助成をしてはいかがか。

**答** 予防接種法に基づかない任意接種であるため、町は個人の接種状況について管理していない。国の方針や専門学会からの見解などの動向を踏まえて、町でも必要な対応を決定し、実施していく中で、インフルエンザワクチン予防接種への助成についても考えていきたい。

**問** 高齢者のインフルエンザ予防接種の状況はいかがか。

**答** 予防接種法に基づき定期接種のB類疾病に位置づけられる。65歳以上の方、または60歳以上65歳未満で特定の障がいがある方を対象として、鳩山町の自己負担額は1500円で実施している。

**問** 緊急事態宣言で休校になり、6月からやっと授業が始まった生徒・児童にも助成をできないか。インフルエンザが流行すると学級閉鎖もあるかも

接種方法(費用助成の受け方) ※費用助成は鳩山町独自の取組です

対象者①の方	対象者②の方
<ul style="list-style-type: none"> <li>65歳以上の方</li> <li>60歳以上の基礎疾患(糖尿病、高血圧、心臓病、腎臓病、慢性腎臓病)を有する方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者</li> <li>基礎疾患を有する方*</li> <li>生活介助者(介護士、ヘルパー、家族など)</li> <li>高齢者施設利用者</li> </ul>
<p>【接種期間】10/1～1/31</p> <p>① 予約を受け取る ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>② 市内の指定医療機関に予約する ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>③ 指定医療機関を受診する ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p>	<p>【接種期間】10/25～1/31</p> <p>① 医療機関に予約する ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>② 医療機関を受診し、一旦、金額を支払う</p> <p>③ 指定センターに集まる ※予約は、接種開始前1週間前までに受け取る。</p> <p>④ 接種券を提示し、金額を支払う</p> <p>⑤ 接種券を提示し、金額を支払う</p>
<p>自己負担 1,500円が 0円</p>	<p>自己負担 1,500円が 0円</p>

65歳以上・15歳以下、今年度接種無料に

しれない。受験生の不安を少しでも解消できたらと思うが。

**答** インフルエンザワクチンの供給体制や、コロナウイルスの感染状況による医療機関の体制整備などに基づいて、また、国・県、近隣自治体など様々な状況を総合的に判断して考えたい。

**問** 国の第3次補正予算では、助成の対象にならないか。

**答** ワクチンがどれほど確保できるのか、3次補正がどういった性格の補正になるのかということも見極めながら、一つの可能性として追及してみたい。

小鷹 房義 議員



北部地域活性化

上熊井農産物直売所の開設時期は

来年の4月1日には間に合わない

**上熊井農産物直売所について**

**問** 直売所が計画された経緯を伺う。

**答** 平成25年12月に北部地域活性化基本条例を制定し、平成27年11月には上熊井地区活性化取組方針が策定され、その中で農産物直売所整備事業が産業振興対策として位置付けられた。

**問** 場所、交通量調査、進入路、集客の見込みなどは、どのように決められたのか。

**答** 場所は、駐車場を含めて一定規模の用地確保が必要。交通量は県の調査で一日当たり4千台。進入路は、警察協議により決定した。集客は、年間12万人と見込んでいる。

**問** 地元と町との話し合いで、どんな意見があったか。

**答** 人口が減少し営農組合もないため、今後を見通した農業の高収益化等の検討が必要ではないか。個人でも企業でも、農地を利用してもらいたい。直売所でなにを販売して



オープンはいつに

いくのか。今後の運営等も含めて検討が必要等。

**問** 来年4月1日に開所予定だったが、なぜ遅れてしまったのか。

**答** 募集期間内に応募団体がいなかった。応募する際の課題に、コロナウイルス感染症の影響があった。今後は、町が提示する指定管理料の増額も考える。

**問** 直売所周辺整備も必要ではないか。

**答** 上熊井地区活性化協定書にもあるが、地元の意向により、辻川の周辺整備を進めていく。

**問** 直売所内に、アンテナショップを開設できないか。

**答** 現在、良品計画に打診している。